

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 RC 文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2時間 / 週
----------------------------------	----------------	---------------------------------	------	--------------------	---------

1学期 中間試験 Term 1 Midterm

Name of Unit, Project 単元名	生物と遺伝子	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』（第一学習社）
------------------------------	--------	-------------------------------------	---------------

Unit Description 単元の概要	生物とはどのようなものか、遺伝子とはどのようなものか、体系的に理解する
---------------------------	-------------------------------------

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3	B3 ①見出したルールを未知のものに適用し、結果を推測できる。 ②作業仮説に基づき、演繹的に実験の設計をすることができる。	C3	A3	B3 ・多くの問題演習を行い、センター試験の出題傾向を把握する。	C3
好	A2 ①ことからの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2	A2 ・センター試験の過去問に触れ、より多くのタイプの問題を解く。	B2 ・指名・発問による解答論拠の確認をする。	C2
知	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1	A1 ・問題集の演習問題を解く。	B1 ・文章問題を図を使って単純化する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Others 備考 <評価方法> 定期試験および確認テスト

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 RC 文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2時間 / 週
----------------------------------	----------------	---------------------------------	------	--------------------	---------

1学期 期末試験 Term 1 Final

Name of Unit, Project 単元名	生物の体内環境	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』（第一学習社）
Unit Description 単元の概要	生物は恒常性を持ち体内の環境を一定に保っている。恒常性がどのようにして実現されているか、恒常性はなぜ必要なのか理解する。		
Class Standards 評価規準	Learning Objectives 学習内容		

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

楽 好 知	A3	B3 ①見出したルールを未知のものに適用し、結果を推測できる。 ②作業仮説に基づき、演繹的に実験の設計をすることができる。	C3	A3	B3 ・多くの問題演習を行い、センター試験の出題傾向を把握する。	C3
	A2 ①ことからの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2	A2 ・センター試験の過去問に触れ、より多くのタイプの問題を解く。	B2 ・指名・発問による解答論拠の確認をする。	C2
	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1	A1 ・問題集の演習問題を解く。	B1 ・文章問題を図を使って単純化する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考 <評価方法> 定期試験および確認テスト

MITA International School Syllabus 2018

三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 RC 文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2時間 / 週
2学期 中間試験 Term 2 Midterm					
Name of Unit, Project 単元名	センター試験演習		Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』（第一学習社）	

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Unit Description 単元の概要	1学期までに生物基礎範囲は終了した。もう一度、化学基礎を最初から復習し、問題演習を中心に、センター試験対策をしていく。
---------------------------	---

Class Standards 評価規準			Learning Objectives 学習内容			
楽	A3	B3 ①見出したルールを未知のものに適用し、結果を推測できる。 ②作業仮説に基づき、演繹的に実験の設計をすることができる。	C3	A3	B3 ・多くの問題演習を行い、センター試験の出題傾向を把握する。	C3
好	A2 ①ことからの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2	A2	B2 ・指名・発問による解答論拠の確認をする。	C2
知	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1	A1	B1 ・文章問題を図を使って単純化する。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking			

Others 備考	<評価方法> 定期試験および確認テスト
--------------	---------------------

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

Grade Level / Course 学年 / コース	高校3年 RC 文系/SEC	Subject Area / Class 教科 / 科目	生物基礎	Class hours 時間数	2時間 / 週
----------------------------------	----------------	---------------------------------	------	--------------------	---------

MITA International School Syllabus 2018
三田国際学園中学校 平成30年度 シラバス

2 学期 期末試験 Term 2 Final

Name of Unit, Project 単元名	センター試験演習	Textbooks / Materials 使用教科書 / 教材	『生物基礎』（第一学習社）
Unit Description 単元の概要	1学期までに生物基礎範囲は終了した。もう一度、化学基礎を最初から復習し、問題演習を中心に、センター試験対策をしていく。		
Class Standards 評価規準		Learning Objectives 学習内容	
楽	A3	B3 ①見出したルールを未知のものに適用し、結果を推測できる。 ②作業仮説に基づき、演繹的に実験の設計をすることができる。	C3
好	A2 ①ことからの結びつきを理解する。 ②単純な現象の結びつきからより複雑な現象が起こるとわかる。 ③既知の実験手法をなぞって追試できる。	B2 ①知識の結びつきを比較して結びつくことを一般化して理解できる。 ②実験結果・諸現象を生じる要因について、考察することができる。	C2
知	A1 ①基本的な用語を知る。 ②実験器具や薬品の名称・役割を知る。 ③得た知識を一問一答形式で答えられる。 ④メモを書き、情報を整理できる。	B1 ①文章を理解して作図できる。 ②実験結果を比較・分類し、分析できる。 ③得られた知識（実験結果）の関係を考察し、ルールを見出せる。	C1
	Recognition	Logical Thinking	Creative Thinking
Others 備考	<評価方法> 定期試験および確認テスト		